

交野市教委ニュース

第77号 (平成29年10月20日発行)

児童・生徒の交流

交野市の小中一貫教育の特徴は、中学生が小学生に対し「あこがれの先輩」像を示していることです。体育大会、中間テスト等の学校行事が続く中、小学生と中学生の交流が盛んに行われています。

10月10日 郡津小・倉治小の6年生が二中体験



郡津小学校と倉治小学校の6年生は、生徒会の先輩から中学校生活の説明を受けた後、校内を中学生に引率され巡りました。その後、教室で授業を体験しました。中学生は、12日から、5日間、郡津小、倉治小で朝のあいさつ運動をしました。

三中生が小学校であいさつ運動



10月18日からは、第三中学校の生徒が校区の小学校で児童や地域の方と一緒にあいさつ運動をしました。自分の出身校の児童と一緒にあいさつをすることで、生徒たちも新たな自覚が生まれたのではないのでしょうか。

中学生の職場体験



市内各中学校では、職場体験活動を行っています。10月19日と20日は四中生が市内の事業所等で貴重な体験をさせていただきました。教育委員会での体験を希望した中学生は、19日は私市小学校で校舎の整備などの活動をしました。小学生と直接の交流はなかったかもしれませんが、小学生にとっては校舎の整備してくれる「あこがれの先輩」にみえたでしょう。私市小学校卒業の中学生もいて、母校での活動もいい体験になったと思います。